

中小企業の業況は、持ち直しの動きが見られるものの、依然として厳しい状況にある。

山口商工会議所では、管内中小企業100社を対象に景況調査を実施し、このほど平成23年4～6月期の実績と平成23年7～9月期見通しについての調査結果をまとめた。（回答率87%）本調査は3ヶ月毎に年4回行う。

業況DI値について、前年同月比の今期（平成23年4～6月）の状況を集計したところ、業況判断DIは、変わらずマイナスで推移しているが、改善傾向にある。

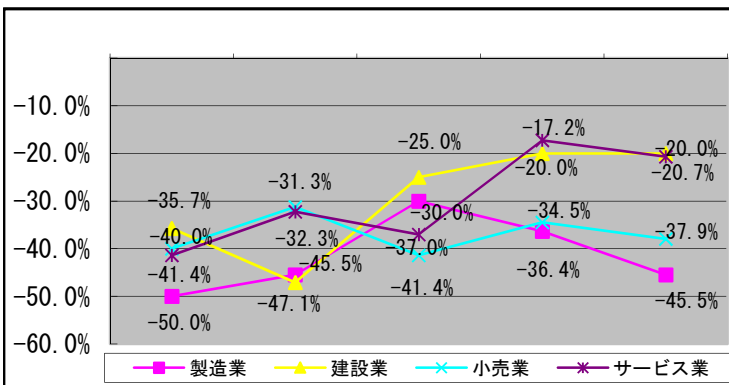
全業種のDI値に見る業況判断は製造業：▲30%→▲36%、建設業：▲25%→▲20%、小売業：▲41%→▲34%、サービス業：▲37%→▲17%となり、建設業・小売業・サービス業で、回復がみられるが、製造業が悪化している。

新規設備投資について、今期中に設備投資を実施した企業は全体の10.3%、来期設備投資を計画する見通しである企業は、13.8%となった。また、今期の経営問題では、「需要の停滞」が各業種とも高水準であるが、経営環境の改

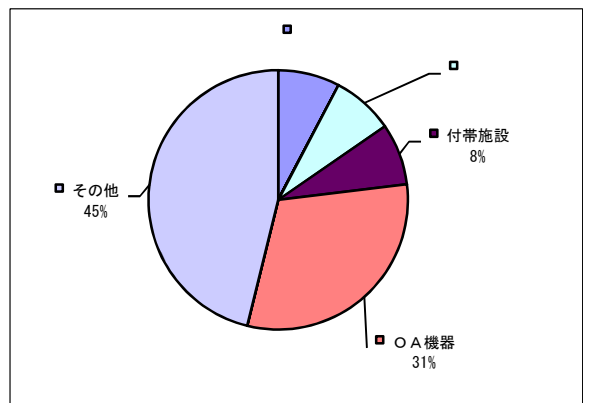
◆業況DI値（今期の状況）

	業況判断	前回調査比	売上	前回調査比	資金繰り	前回調査比	仕入単価	前回調査比	経常利益	前回調査比	従業員数	前回調査比
全産業	-26%	↗	-38%	↗	-22%	↗	19%	↘	-33%	↗	3%	↗
製造業	-36%	↘	-36%	↗	-20%	↗	27%	↘	-45%	↗	0%	↗
建設業	-20%	↗	-20%	↗	-27%	↘	33%	↗	-33%	↗	-7%	↘
小売業	-34%	↗	-48%	↗	-38%	↘	10%	↗	-52%	↘	8%	↗
サービス業	-17%	↗	-34%	↗	-7%	↗	18%	↘	-10%	↗	4%	↗

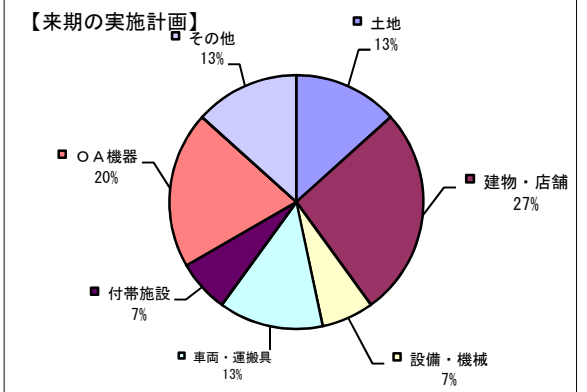
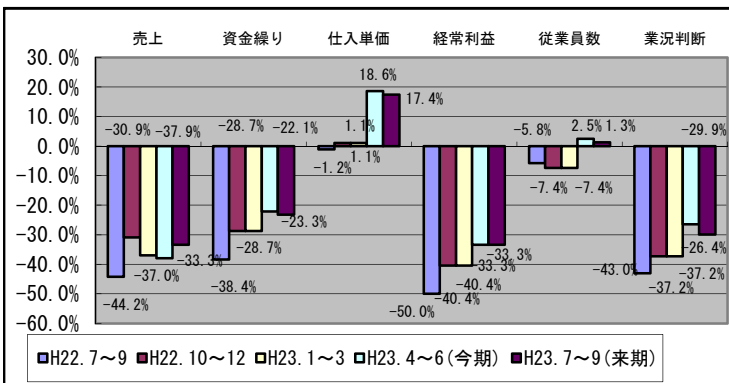
◆産業別業況判断DI（前3期からの推移と来期見通し）



◆新規設備投資（今期実施・来期計画）



◆全産業DI項目別比較（前3期からの推移と来期見通し）



◆経営上の問題点

	製造業	建設業	小売業	サービス業
1位	需要の停滞 27.3%	民間需要の停滞 23.3%	需要の停滞 20.6%	需要の停滞 25.4%
2位	原材料価格の上昇 13.6%	官公需要の停滞 20.9%	購買力の他地域への流出 10.3%	利用者ニーズの変化への対応 17.9%
3位	製品(加工)単価の低下・上昇難 13.6%	請負単価の低下・上昇難 14.0%	消費者ニーズの変化への対応 10.3%	材料等仕入単価の上昇 9.0%

※DIとは、ディフュージョン・インデックス（景気動向指数）の略で、各調査項目についての増加（好転）企業割合から減少（悪化）企業割合を差し引いた値を示す。